

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月曜1・2限	教室名	第2校舎301
担 当 教 員	左明	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
授業の内容細胞や組織、器官、器官系及び発生学の基礎知識を講義で勉強する。 循環器系・消化器系・内分泌器系の構成と機能を講義と模型での実習を通して学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
総復習・質疑時間						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書解剖学財団法人 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
講義の復習を行っておくこと。図書室にある解剖学図譜を参考にすることも非常に有用である。						
《履修に当たっての留意点》						
知識は楽にして身に付きません。人体の構造と機能という医学基礎知識を習得するには努力が必要です。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖用語を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	解剖学概念、分類、用語(一)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖用語を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	解剖学概念、分類、用語(二)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞の構造と機能を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	細胞の構造と機能			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞の分裂と遺伝子を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	細胞の分裂と遺伝子			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	上皮組織と腺を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	組織(一) 上皮組織と腺			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	支持組織と結合組織を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	組織(二) 支持組織(一) 結合組織		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液・骨・軟骨組織を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	組織(三) 支持組織(二) 血液・骨組織・軟骨組織		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋・神経組織を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	組織(四) 筋組織・神経組織		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	受精、着床、各組織、器官の発生を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	人体の発生:受精、着床、各組織, 器官の発生		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器の基礎を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	循環器系の基礎知識		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	心臓 心臓の位置と構造		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の各弁と神経伝導系、栄養血管を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	心臓 心臓の弁・刺激伝導系・栄養血管		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	模型とVTRで理解を深める。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	模型で心臓の構造確認 VTR鑑賞		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	動脈と大動脈を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	動脈 大動脈とその分枝		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部・上肢・下肢の主な動脈の走行と名前を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	動脈 頭頸部・上肢・下肢の動脈		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月曜3・4限	教室名	第2校舎301
担 当 教 員	左明	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
授業の内容細胞や組織、器官、器官系及び発生学の基礎知識を講義で勉強する。 循環器系・消化器系・内分泌器系の構成と機能を講義と模型での実習を通して学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
総復習・質疑時間						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書解剖学財団法人 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
講義の復習を行っておくこと。図書室にある解剖学図譜を参考にすることも非常に有用である。						
《履修に当たっての留意点》						
知識は楽にして身に付きません。人体の構造と機能という医学基礎知識を習得するには努力が必要です。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	静脈の走行、名前を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマに おける 授業予定	静脈 静脈系の特徴・全身の静脈(一)			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	静脈の走行、名前を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマに おける 授業予定	静脈 全身の静脈(二)			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	胎児循環について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマに おける 授業予定	胎児循環			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	リンパ管の走行と名前を理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマに おける 授業予定	リンパ管系			
第 20 回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	血管とリンパ管の走行を模型で確認して、理解を深める。	教科書、PPT	授業内容の復習	
		各コマに おける 授業予定	模型で復習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	VTRと過去問題で理解を深める。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	VTR鑑賞・過去問チャレンジ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化管について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化器系(一) 消化管		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化管について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化器系(二) 消化管		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化腺について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化器系(三) 消化腺		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹膜について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化器系(四) 腹膜		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	気道について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	呼吸器系(一)イントロ 気道		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	呼吸器系(二)肺		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸膜と縦隔について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	呼吸器系(三)胸膜と縦隔 過去問チャレンジ		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の範囲の解剖学について理解できている。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	総復習・質疑時間		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期履修内容の国家試験同等問題が解けるようになる。	教科書、PPT	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	まとめ		